

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 筏井 哲治

- I 開催年月日 令和 6 年 4 月 17 日（水）
- II 会議時間 午後 1 時 32 分～午後 1 時 45 分
- III 出席委員等〔出席委員〕◎筏井 哲治 ○梅島 清香 山上 尊士
林 貴文 石須 大雄 坂林 永喜
藪中 一夫 曾田 康司 狩野 安郎
(◎…委員長 ○…副委員長)
- 〔議長〕 本田 利麻議長は総務文教常任委員会に出席
- 〔副議長〕 横田 誠二副議長は産業建設常任委員会に出席
- 〔説明員〕 別紙名簿のとおり
- 〔委員外議員〕 なし
- 〔事務局職員〕 宮崎 篤生 堀 泰平
- 〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

議案第 75 号 令和 6 年度高岡市一般会計補正予算（第 1 号）のうち本委員会所管分

以上、予算議案 1 件については、審査の結果、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【議案第 75 号のうち、ごみ収集事業費について】

- ごみ収集事業費について、高岡市ひとり暮らし高齢者世帯の災害廃棄物個別回収事業では、100 件程度を見込んでいたとのことだが、件数が大幅に上回った場合の対応は。
- △ 高岡市ひとり暮らし高齢者世帯の個別回収事業については、従来、市直営で実施している事業である。今回、災害廃棄物を対象とし、件数が増加することから、委託事業で実施するものである。件数がどの程度になるかは見通せないところであるが、市直営で対応できる部分は対応し、不足する場合は追加の予算措置を検討した

い。

- 同じく、ごみ収集事業費について、高岡市ひとり暮らし高齢者世帯の災害廃棄物個別回収事業において、市長が特に必要と認める高齢者世帯の具体的な内容は。また、今後、対象者にどのように周知するのか。
- △ 既存の事業を拡充するものであり、対象者は、市内に住所を有すること、満 65 歳以上であること、ひとり暮らしであること、災害廃棄物を自ら又は近隣住民等の協力を得ても既存の集積所に搬出することができないこと、そして、市長が特に必要と認める高齢者世帯となっている。通常のごみを運ぶことができない方が対象となっているが、今回、家財道具などの大きな災害廃棄物も考えられることから、高齢者世帯の相談を受けながら柔軟に対応していきたい。また、地元説明会において SNS 等では高齢者世帯に情報が届かないという意見もあったことから、自治会等の協力をいただき、回覧板等を活用して周知に努めたい。
- 高齢者世帯への周知はなかなか難しい部分もあると思うが、情報を必要としている方々には本当にありがたい事業であると思うので、周知徹底に努めていただきたい。(要望)

【議案第 75 号のうち、消火栓設置等事業費について】

- 消火栓設置等事業費について、令和 6 年能登半島地震の被害を受けて、横田町二丁目地内の消火栓 3 基の移設工事を実施するとのことだが、消火栓の場所は大幅に変わるのか。
- △ 上下水道局に工事を委託することになるが、配水管布設に伴い、道路幅の範囲内で移設補修されるものと承知しており、大幅な場所の変更はないものと考えている。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（7名）

生活環境文化部長	二 塚 英 克		
生活環境文化部次長 参事	山 本 真 弘		
生活環境文化部次長 地域課長	大 野 洋 靖		
環境政策課長	室 谷 智		
消防長	浦 島 章 浩		
消防本部次長	有 澤 智 文		
消防本部次長 総務課長	布 橋 隆 男		